

事務連絡
平成28年 2月 3日

日本赤十字社血液事業本部 御中

厚生労働省医薬・生活衛生局
血液対策課

ジカウイルスによることが疑われる小頭症等の増加に
関する WHO 緊急委員会宣言について（注意喚起）

日頃より、血液行政の推進にご尽力いただき御礼申し上げます。

今般、ジカウイルス流行地域における小頭症と神経障害に関する WHO 緊急委員会が開催され、小頭症及び神経障害の集団発生に関する「国際的に懸念される公衆の保健上の緊急事態」（Public Health Emergency of International Concern（PHEIC））が宣言されました。

厚生労働省では既に平成28年1月21日に都道府県等にジカウイルス感染症の検査診断等に対する情報提供（「ジカ熱に関する情報提供及び協力依頼について」（平成28年1月21日 事務連絡 厚生労働省健康局結核感染症課））がなされ、さらに2月2日、「ジカウイルスと小頭症などの増加に関する WHO 緊急委員会報告について」の報道発表がなされています。

ジカウイルス感染症については、輸血などによる感染の可能性が指摘されていることから、貴職におかれましても、海外渡航歴を有する者等からの採血に当たっては、献血受付時の問診等、感染被害の防止に万全を期すよう貴管下血液センター等への周知徹底をお願いします。

（参考）

※ ジカウイルス感染症の臨床上的特徴

（1）症状

主として軽度の発熱（ $<38.5^{\circ}\text{C}$ ）、頭痛、関節痛、筋肉熱、斑丘疹、疲労感、倦怠感などを呈する者（一般的にデング熱、チクングニア熱より軽症だが、血小板減少などが認められる場合もある）

（2）潜伏期間

3日～12日

（3）ジカ熱の流行国地域（平成28年2月2日時点 ECDC 公表資料より）

米領サモア、バルバドス、ボリビア、ブラジル、カーボベルデ、コロンビア、コスタリカ、キュラソー島、ドミニカ共和国、エクアドル、エルサルバドル、フィジー、仏領ギアナ、グアドループ、グアテマラ、ガイアナ、ハイチ、ホンジュラス、ジャマイカ、モルディブ、マルティニーク、メキシコ、ニューカレドニア、ニカラグア、パナマ、パラグアイ、プエルトリコ、セント・マーチン島、サモア、ソロモン諸島、スリナム、タイ、ベネズエラ、トンガ、米領ヴァージン諸島

※ 厚生労働省HP「ジカウイルス感染症について」

<http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000109881.html>